

日本語でオンライン演劇を作ってみよう

【講座内容】

本講座では、受講生が日本語で演劇を作成することを目的としています。オンライン上で受講生が集う講義画面（ギャラリービュー）を舞台に、セリフやアクションだけでなく、背景画像や音楽などを駆使しオンラインならではの作品を作り上げます。まず、講義形式で日本の演劇文化や実践について学びます。その後、自己表現を学ぶための活動を通して演劇を体験し、講師が提供する短編シナリオを用いてオンライン演劇を体験します。講座の後半からは受講生の実体験をもとに受講生が協力してシナリオを作成し、演劇を作り上げていきます。受講生の人数にもよりますが、一つの作品は10分から15分を予定しています。セリフを通して日本語や表現力を習得できるだけでなく、受講生が中心となって演劇を作り上げる過程で、日本語のコミュニケーションの力も磨くことができます。これまでの演劇経験は一切不問です。活動や制作を通して、演劇の面白さや、日本語でのコミュニケーションの楽しさを感じていただければと思います。

【重点を置く学習内容】

話す、話し合う、自己表現力、協働学習

【テキスト】

講師作成の教材・スライド等を電子配布



【各回の内容（全12回）】

- 1回目：日本の演劇－近代演劇から現代の小劇場で行われている演劇について－
- 2回目：社会の中にある演劇－演劇を活用した教育や心理学について－
- 3回目：演劇体験：自己表現のためのウォーミングアップ・アイスブレイク活動
- 4回目：演劇体験：短編シナリオで練習-
- 5回目：演劇体験：短編シナリオの発表-
- 6回目：作品作り：実体験の共有・ストーリーの選定
- 7回目：作品作り：シナリオ作成
- 8回目：作品作り：シナリオ作成
- 9回目：中間発表
- 10回目：作品作り：修正・作り込み・練習
- 11回目：発表会
- 12回目：感想会・振り返り